

# 縄文のうた

宮澤 雍徳（茅野市）

- 一 広い広い 裾野原  
千古と仰ぐ ハヶ岳  
ニツの国宝 目覚めたる  
縄文の里 静かなり
  
- 二 走る走る 若者は  
山川を越えて 獲物追う  
額の汗を ぬぐう時  
縄文の風 吹いて来る
  
- 三 光る光る 黒い石  
霧ヶ峰より 運び来て  
矢尻造りし 小屋跡か  
小さなカケラ 見付けたり
  
- 四 大きな大きな 壺や瓶  
素朴な縄文 進化して  
宇宙の真理 秘めたるか  
想いは深し 土器造り
  
- 五 踊る踊る 輪になって  
囲む焚火の シルエット

子供の姿も 浮び出て  
縄文の夜は 更けて行く

六 祈る祈る 静かな夜

今日(ひとひ)に 感謝して

明日の幸(しあわせ) 願う時

縄文の里 灯がともる

縄文の里 灯がともる